



AMBITION
To Be The BEST

問われるのは勝利への覚悟
どんな状況でも、勝ち切るチームへ

Vitória

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE



VOL.
526

みんなて楽しいスタジアムをつくらう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。



No Bribes or Cans
ビン、カン等の持ち込み禁止



No Fireworks, Smoke, Candles or Horns
花火、爆竹、焚火、花火、爆竹、焚火等の持ち込み禁止



No Throwing
フォームドヘモの投げ込み禁止



No Jumping Down to the Field
フィールドへの飛び降り禁止



No Violence
暴力行為の禁止

2026/27
MEIJI YASUDA J.LEAGUE
DIVISION 1 SEC.13
2026.10.31 SAT

浦和レッズ



チカラをひとつに。
- TEAM AS ONE -

鹿島アントラーズ戦から中2日でACL Eliteのラーチャブリー戦を戦ったレイソルは、中3日で浦和レッズ戦を迎える。この後も、ACL Eliteの大田ハナ・シチズン戦、リーグ戦の川崎フロンターレ戦と連戦が続く。対戦相手のレッズは水曜日のルヴァンカップで延長戦の末に名古屋グランパスを下し、中2日でレイソルとの戦いを迎える。同じ連戦とはいえ、レイソルにはタイへの長距離移動後の試合という難しさがある。

ラーチャブリー戦後、古賀太陽は「回

復を優先する日程の中では戦術面などで十分な準備時間を確保することが難しい」と語った。その上で「そういった中でも自分たちは再現性の高いパフォーマンスを発揮し続けなければいけない」と強調している。このような状況下で結果を残して勝点を積み上げていくことは、レイソルがさらに強いチームになるために求められる条件となる。

レッズについて、小泉佳穂は「撃ち合って勝つチーム」という印象を口にし、その展開を避けるためにも、ゲームコン

ロールの重要性を説いた。今シーズンから曹貴裁監督が率い、徐々に戦術も浸透。三丸拡が「あれだけ個の能力の高い選手たちが、アグレッシブなプレーをしている」と以前との違いを語るとおり、現在公式戦5連勝と勢いに乗っている。この一戦に向けて、小泉が何より重視するのは目の前の勝点3。「石にかじりついてでも勝点3を取るんだという、メンタルが一番大事」。厳しい連戦を乗り越えるためにも、総力を結集して勝利をつかみ取る。

クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう!



加入はこちらから▲



2026/27明治安田Jリーグ全試合を、
DAZNが配信。

DAZN.COM

ハタメグミの
**お絵かき
日立台!**
~2026/27~

リーグ戦は前節
鹿島で劇的勝利!
からのACLの
アウェイ明けてハ
ードな連戦が続
くけど、みんなで戦
い抜こう!もっとも
と勝っていこう!!



柏レイソル VS 浦和レッズ

KASHIWA
Reysol

[監督] リカルド・ロドリゲス

1	GK	猿田 遙己	HG	
2	DF	三丸 拓		
3	DF	麻田 将吾		
4	DF	古賀 太陽	HG	
5	MF	遠藤 颯太		
6	MF	山田 雄士	HG	
8	MF	小泉 佳穂		
9	FW	細谷 真大	HG	
11	MF	渡井 理己		
13	DF	犬飼 智也		
14	MF	大久保 智明		
15	FW	藤尾 翔太		
16	MF	木本 康也		
17	MF	手塚 康平	HG	
18	FW	垣田 裕輝		
19	MF	仲間 隼斗	HG	
20	MF	瀬川 祐輔		
21	MF	小西 雄大		
23	MF	長南 開史 (2種)	HG	
24	MF	久保 藤次郎		
25	GK	小島 亨介		
26	DF	杉岡 大暉		
27	MF	熊坂 光希	HG	
28	MF	戸嶋 祥郎		
29	GK	永井 堅梧		
30	MF	古谷 修介		
32	DF	山之内 佑成		
33	MF	岩永 創太		
39	MF	中川 敦瑛		
40	MF	原川 力		
42	DF	原田 亘		
43	MF	加茂 結斗 (2種)		
44	MF	弓場 堅真		
45	DF	佐藤 桜久 (2種)		
46	GK	松本 健太	HG	
51	FW	満田 誠		
56	DF	常藤 奏		
63	GK	金子 遙真 (2種)		
64	MF	五十嵐 陵 (2種)		
77	GK	若原 智哉		
87	MF	山内 日向汰		
88	DF	馬場 晴也		
※出場停止:なし				

STAFF

ヘッドコーチ/栗澤 僚一
コーチ/大谷 秀和、染谷 悠太
GKコーチ/井上 敬太
フィジカルコーチ/松原 直哉
フィットネスコーチ/長谷 篤

2026.10.31 SAT/三協フロンテア柏スタジアム

16:03 KICK OFF

予想スターティングメンバー



[監督] 曹 貴裁

1	GK	西川 周作	
2	DF	宮本 優太	
3	DF	ダニエロ ボザ	
5	DF	根本 健太	
6	DF	山根 視来	
7	MF	金子 拓郎	
8	MF	水沼 宏太	
10	MF	マテウス サヴィオ	
11	MF	サミュエル グスタフソン	
12	MF	瀬古 樹	
13	MF	渡邊 凌磨	
15	DF	工藤 孝太	
17	FW	小森 飛純	
18	DF	林 幸多郎	
23	GK	福井 光輝	
25	MF	安居 海渡	
28	DF	田中 義峯	
29	MF	堀内 陽太	
31	DF	稲垣 篤志	
32	DF	片山 瑛一	
33	MF	笹 修大	
34	DF	田中 玲音	
36	FW	肥田野 蓮治	
37	MF	植木 颯	
39	MF	早川 隼平	
40	DF	ルカ ディドゥリカ	
42	FW	南野 遥海	
43	MF	和田 武士	
44	GK	新井 栄聡	
45	FW	オナイウ 阿道	
46	MF	中村 虎太郎	
47	DF	高橋 温郎	
88	MF	長沼 洋一	
※出場停止:なし			

STAFF

ヘッドコーチ/吉田 達磨
コーチ/池田 伸康、杉山 弘一、梅崎 司、
山中 真、前迫 雅人
GKコーチ/堀田 仁史
フィジカルコーチ/石栗 建、西形 浩和

Stop! THE KEY PLAYER

浦和レッズ
10 MF マテウス サヴィオ

前節のV・ファーレン長崎戦では、背後への抜け出しから決勝点を決めた。このビッグチャンスを、彼ほどの選手が外すわけがない。今シーズンから背番号がレイソル時代と同じ「10」に変わり、曹貴裁監督体制のもとで絶対的な存在感を示している。昨シーズン第27節の対戦でも、サヴィオのワンタッチパスから追加点を奪われている。ドリブル、パス、シュート、そのすべてが一級品。レイソルの勝利のためには絶対に抑えなければいけない選手だ。



KASHIWA REYSOL 2026/2027 GAME SCHEDULE

明治安田J1リーグ

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUFG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	●0-2
7	9月11日(金)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	○3-2
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	○4-2
9	10月9日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	○4-2
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	●1-3
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	△0-0
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	○3-2
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	—
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	—
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	—
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	—
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	—
19	12月13日(日)	14:00	JFEス	ファジアーノ岡山	—
16	12月16日(水)	19:00	パナスタ	ガンバ大阪	—

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※1:2/24(水)に開催する可能性あり ※2:3/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性あり ※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水・祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性あり ※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性あり

◎ブラジルラウンド:準々決勝

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
第1戦	11月11日(水)	19:00	U等々力	川崎フロンターレ	—
第2戦	11月15日(日)	17:00	三協F柏	川崎フロンターレ	—

天聲杯

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
2回戦	8月26日(水)	19:00	三協F柏	専修大学	○2-1
3回戦	9月23日(水・祝)	17:00	三協F柏	FC今治	○4-0
R16	12月9日(水)	19:00	三協F柏	ファジアーノ岡山	—

J.LEAGUE DIVISION 1 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	町田	27	12	8	3	1	20
2	FC東京	27	12	8	3	1	20
3	広島	26	12	8	2	2	19
4	柏	25	12	8	1	3	6
5	神戸	23	12	7	2	3	7
6	川崎	22	12	6	4	2	7
7	浦和	21	12	7	0	5	-2
8	鹿島	20	12	6	2	4	4
9	横浜FM	18	12	4	6	2	4
10	岡山	16	12	5	1	6	-2
11	名古屋	14	12	4	2	6	-4
12	C大阪	14	12	3	5	4	-7
13	清水	14	12	4	2	6	-10
14	長崎	12	12	3	3	6	-4
15	G大阪	11	12	2	5	5	-7
16	京都	10	12	2	4	6	-8
17	水戸	9	12	2	3	7	-10
18	東京V	8	12	1	5	6	-12
19	福岡	7	12	2	1	9	-8
20	千葉	7	12	1	4	7	-12

2026年10月26日現在



——もうすぐリカルド監督体制が丸2年になります。チームは右肩上がりに成長していると思いますが、2025シーズン、明治安田百年構想リーグ、そして今シーズンここまでを振り返って、どういふ部分が上積みされたと感じていますか？

「去年、優勝争いをした経験と、百年構想リーグでの苦しかった経験が、成長に大きくつながっていると感じています。昨シーズンは上位との直接対決に勝てませんでした。実力的に足りない面もあったほか、チームとしての若さもあったと思います。重要な試合になればなるほどプラスアルファを出せるチームが本当に強いチームだと思うのですが、そこで神経質になったり、少し弱気になってしまったり、実力を発揮しきれなかったことがあります。ただ、今シーズンはそういう面はなくなってきたと思いますし、個の力を発揮するといふ強さはチーム全体から感じます」

——ヴィッセル神戸戦は、自分たちがボールを握って長い時間相手を押し込むと

いうよりは、しっかりと耐えながらスピーディーな攻撃で得点を重ねていきました。戦い方の幅が広がった印象も受けました。

「藤尾の存在が大きいと思います。彼はあらゆるシチュエーションで効果的なプレーができる選手なので、それによって比較的力量的なこともできるようになりましたし、瀬川くん、(細谷)真大、カキ(垣田)と、FWの顔ぶれによっていろいろな戦い方ができるようになったのも大きいと思います」

——守備のほうはいかがでしたか？

「ロングスローやセットプレーの対応では、選手間の声掛けや、瞬間的な集中力を発揮することと維持することに関しては成熟してきていると思います。一方で、チームとしてもっと成熟できると思っています。攻撃では幅が広がり、いろいろなパターンができるようになっていますが、守備に関しては、まだ手数が足りません。そこは大きな伸びしろでもありますし、チームとしてどう守っていくかは今後の大きな課題だと思いますが、

選手たちのピッチ内での集中力や声の掛け合いは成長していると思います」

——FC町田ゼルビア戦、ヴィッセル神戸戦、鹿島アントラーズ戦と2失点はしていますが、ゴール前で粘り強く守るという部分に関しては、体を張って守れるようになっています。

「そこは経験値が大きいですね。去年、散々やられましたし、そういうところで勝てない上位との対決には勝っていないとは感じていたので、その意識はみんなが強く持つてやっているといます。あとは、百年構想リーグがチームにとって学びの多いシーズンになりましたね。2025シーズンは、比較的自己たちのスタイルを通して勝つことができました。百年構想リーグでは対策されて、自分たちのスタイルの精度が低いために勝てない試合がありました。それは大きな課題なのですが、それと同時に、自分たちのスタイルが出せないときにどう戦うかという経験値は、2025年より積めたシーズン

順当に勝てるチームに

Focus

8MF Yoshio KOIZUMI

小泉佳穂

になりました。五分五分の試合や、分の悪い試合でどう勝点を拾うか。その経験値は生きていますし、良い教訓にはできています。ただ、目指すのはそこではなくて、7割、8割の試合で順当に勝てるチームを目指さなければ優勝には届きません。そういう意味ではまだまだですね。だからこそ、今シーズンは上位には勝っていますが、中位のチームに取りこぼしてしまうということが起きています」

——最後にサポーターにメッセージをお願いします。

「今シーズンはタイトルを獲得するという意気込みで戦っている中で、本当に1試合1試合が大事な試合になります。僕らはそのつもりで戦っていますし、サポーターの皆さんにもそのつもりで応援してもらえたらうれしいなと思いますね。あと、今節は個人的には古巣である浦和レッズとの対戦なので、いつもよりも2割増しで声を出して応援していただけるとうれしいです」

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

A soccer player in a black jersey with 'HITACHI' and 'J.League' logos, dribbling a ball on a field. The player is wearing black shorts with the number 4, black socks, and white cleats. The background shows a stadium with spectators and a blue advertising board with a paw print logo.

アジアでの挑戦は、まだ始まったばかりだ。

発行：(株)日立柏レイソル 文：鈴木潤 写真：飯村健司 デザイン：結城亨 (SelfScript) 編集：(株)文化工房